

Title	ウヰリヤム・ アダムスの記念塔
Sub Title	
Author	幸田, 成友(Koda, Shigetomo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1938
Jtitle	史学 Vol.17, No.2 (1938. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	口繪
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19381100-004">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19381100--004</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



## キリヤム・アダムスの記念塔

一九三四年五月十一日、キリヤム・アダムスの記念塔除幕式が彼の生地ケント州のジリングガムで、時の駐英日本大使松平恒雄氏の手で行はれた。

記念塔はロンドンとドーバーとを結ぶローマ時代の大道（今ワットリング街道といふ）に沿ひ、ロンドンから三十二哩の地點（圖の右方、路傍樹の下に里程石標が見える）に建てられた。十三呎平方高さ十呎の基礎工事の中央に立てる時計塔で、總高二十五呎、全部石造である。

アダムスのために記念塔設立を發起したのは少佐グランサム氏 Major W. W. Grantham である。少佐は一九二五年相州逸見村にアダムス夫妻の墓を訪ひ、深く感ずる所あり、歸國後ロンドンに開催せるケント州人大會においてその議を主張し、列席者の賛成を得て資金募集係に擧げられ、拮据經營八年にして遂にこの計畫を成就した。

本圖はジリングガムの前市長ジェー・メート氏 Ex-Mayor J. Pate から最近自分に寄せられた寫眞による。

昭和十三年六月 幸田成友記